

組合ご案内



佐伯広域森林組合

〒879-3302 大分県佐伯市宇目大字南田原283番地2
TEL 0972-54-3326 FAX 0972-54-3328

今、そして、

2 下刈

植林した苗木の育成を妨げる雑草を刈払い、つるを除去する作業

実施時期:6~8月
林 齢:1~7年

1 苗木生産・植栽(造林)

「コンテナ苗、苗木生産」
選抜された優良品種
「地拵、植付」
伐採した後の乱木を棚組状に整理し
スギ等の苗木を植付ける

実施時期:2~5月
林 齢:0年

8 木材利用

住宅などへの木材利用を進め、都市部に木造住宅を増やすことを目指し、街に新たな森林を作ることで二酸化炭素の貯蔵、排出抑制を通じて地球温暖化防止に貢献します

7 製材

丸太を角材や板材などに効率よく加工し、建築用の構造材などを生産し消費者の手に届けます

佐伯型循環

取

未来のために

より多くの林業の皆様とともに
より広範な業務へ

3 枝打・除伐

植林した木を被圧する雑木や巻き付いたつる、不良木を取り除く作業
(状況に応じ2回程度)

実施時期:9~翌3月
林 齢:11~20年

4 間伐

植林した木の成長により幹や枝が込み合ってくるので将来性のない木や間隔的に近すぎる木を切り倒す作業
(5~10年ごとに3~5回)

実施時期:9~翌2月
林 齢:21~40年

5 全伐(50年伐期施業)

成熟した森林を全部伐採します
植栽から伐採までは、平均50年で循環させます

実施時期:9~翌2月
林 齢:50年程度

6 原木集荷

丸太を効率的に集荷し、製材工場などに供給します

環林業の
組み



苗

この地域では、これまで土壤条件が悪く、育苗生産は行われず、苗木供給は宮崎県に依存してきました。しかし近年九州各県においても主伐が進み、再生の糧である苗木不足が深刻な問題となってきました。

苗木生産者も、高齢化により増産が厳しい状況の中、管内の再造林を推進するため、当組合自ら新生産方式によるスギコンテナ苗生産に着手しました。

自らが生産に取り組み、苗木の安定供給への道筋を付け、生産技術を確立し組合だけの生産ではなく、地域の森林所有者等に生産技術の普及を図ることを目的として苗木生産に取り組んでいます。

植える

戦後に植林されたスギは収穫期に達し、伐採される面積は年間300haを超え、伐採された跡地を再生させるためには70～80万本の苗木が必要となります。

ここ佐伯地域の気候は、高温多湿で雪がほとんど降らない南海型気候に属し、この恵まれた気候はスギの生育に最も適しています。

伐採された跡地は、「地ごしらえ」という作業によりきれいに整地されスギ、ヒノキの苗木を1本1本ていねいに植え付け、また山と人との関係が半世紀続きます。

森林ボランティア

佐伯広域森林組合では、年に二度緑づくり国民活動推進事業の一貫とし地球温暖化防止のため森林ボランティアを開催しております。ボランティア活動の内容はその都度さまざまですが、これまでの活動では、下刈枝打ち／間伐木の枝払い／植林／樹木の名札付け／森林公園の歩道整備、などを行いました。また交流会や抽選会なども開催されるため、むしろボランティア活動に参加される方たちは大自然に包まれながらの憩いのひとときを味わえるようです。ボランティア活動を楽しんでいただきながら、山や森の雄大さ・大切さをお持ち帰りくだされば幸いです。

これまでのボランティアの方々のご協力と佐伯広域森林組合の姿勢が評価され、佐伯広域組合は平成17年緑化推進運動功労者内閣総理大臣賞を受賞しました。





育てる

苗木は雑草やつるより成長が遅いため、放っておくと生育を妨げられてしまいます。雑草に覆われてしまい、つるに巻かれた苗木は枯死してしまう可能性もあります。そうならないよう、雑草のいちばん繁茂する夏場に下刈りという作業を行います。苗木が健やかに成長できるように手助けし、大事に育てていきます。この地域では一般的に6年生になるまでこの下刈り作業を行います。

守る

10年生ともなると苗木は四方に枝を張り樹高は4～5mに成長します。しかし、下刈を終え、10年生になるまでの4～5年間で今度は林内にかん木類が侵入してきます。このかん木類に主林木の成長が抑圧されないよう、また主林木間の近いものなどを取り除く「除間伐」という作業、また主林木につる類の巻き付きを防ぐための作業で、節の無い材をつくるため余分な枝を切り取る「枝打ち」と言う作業が次に必要になります。

間伐

20年生となると主林木は成長し、林内は込み合い陽光もあたりにくく、木の根張りは悪く、下層植物は絶え、水分を蓄えきれず枯死する木も出てきます。林内に十分な陽光を入れ、主林木の成長を妨げない下層植物との共生を促すことで、根張りもよく合わせて災害に強い健全な森を作るため、劣勢木、不良木の除去 間隔を整えるなど主林木の間引きの「間伐」と言う作業を主伐期までの間何度か繰り返し行います。

伐採

一本の木が育つには膨大な人の手と長い長い時間をかけ伐期を迎えた木を、ベテランの職人が丁寧に切り倒します。伐採直後の杉は、芯部分の赤身が、森の緑に鮮やかに映えます。森で育った木は、住宅をはじめとして、社会のさまざまな暮らしの場面で活用されます。木が私たちの暮らしと切っても切れない関係にあります。そして木が他の工業製品と最も異なるところ、それは務めを終えたら土に還るという循環性です。





共販所

伐期を迎え伐採された木材はこの共販所へ持ち込まれ各種類毎に選別され主に九州管内の製材業者様へと落札されていきます。

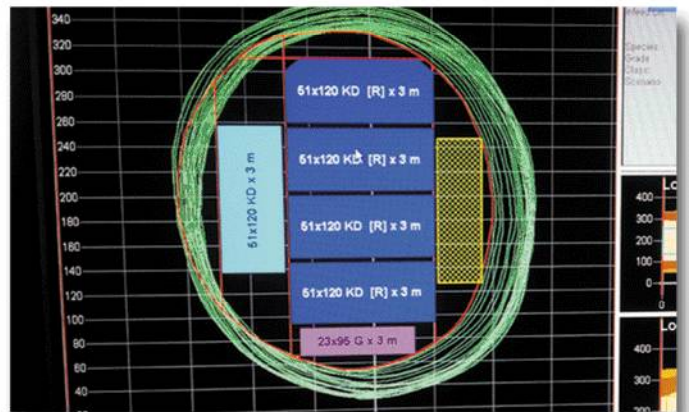
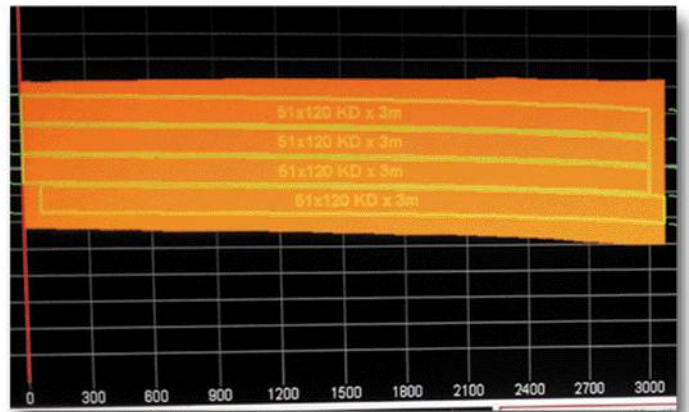
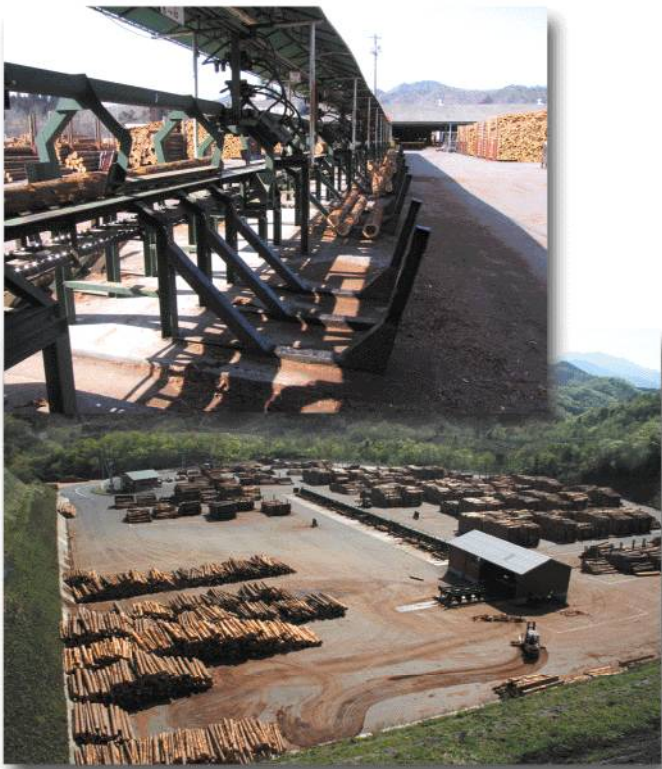
当組合では佐伯市内2か所で共販所を運営しております。取扱樹種のほとんどはスギで2か所を合算した取扱量は大分県内でもトップとなっており大分県南部地域の木材流通の拠点となっております。

製材

佐伯管内に豊富に植林されているスギを専門とした製材工場で、生産性を徹底的に追求した生産ラインとなっております。

なかでも、原木の曲り具合を一本一本計測し、それぞれの異なった曲り具合に合わせながら製材を行う機械を導入した事により、直材だけではなく曲り材もたいへん有効に使用する事ができております。

その規模は国内にある国産材製材工場の中でもトップクラスの規模を誇ります。



組合概要

組合名	佐伯広域森林組合
代表者名	代表理事組合長 戸高 壽生
所在地	大分県佐伯市宇目大字南田原283番地2
出資金	692,711,000円
設立年月日	平成2年3月31日
組合員数	5,282人
役員数	理事18名 監事 3名
職員・工員数	職員37名 現業・工員100名
組合施設	本所、本匠支所、直川支所、佐伯支所、宇目工場、 佐伯プレカット工場、宇目共販所、佐伯共販所
森林面積	国有林 14,516ha 民有林 64,212ha 合計 78,728ha

経緯

平成2年3月31日	佐伯市・弥生町・蒲江町・本匠村・宇目町・直川村の6森林組合が合併し、佐伯広域森林組合となる
平成4年11月	宇目共販所竣工
平成4年8月	佐伯市字内女島7225番地に本所竣工
平成5年3月	佐伯市本匠に本匠杭工場竣工
平成5年6月	宇目工場竣工
平成11年3月	佐伯プレカット工場竣工
平成14年5月	宇目工場 修正挽加工施設竣工
平成20年8月	宇目木材集出荷施設竣工
平成21年4月	新宇目工場竣工
平成27年1月	宇目土場増設工事完成
平成27年4月	新本所完成

拠点一覧

本所	〒879-3302 佐伯市宇目大字南田原283番地2 TEL 0972-54-3326 FAX 0972-54-3328
佐伯支所	〒876-0813 佐伯市長島1-2-1(大分県佐伯総合庁舎内) TEL 0972-22-1156 FAX 0972-22-9111
本匠支所	〒876-0213 佐伯市本匠大字堂の間1067番地1 TEL 0972-57-6003 FAX 0972-57-6081
直川支所	〒879-3101 佐伯市直川大字赤木2番地1 TEL 0972-58-2004 FAX 0972-58-2213
佐伯共販所	〒876-0822 佐伯市西浜8番25号 TEL 0972-22-4531 FAX 0972-22-0435
宇目共販所	〒879-3302 佐伯市宇目大字南田原283番地2 TEL 0972-54-3633 FAX 0972-54-3328
佐伯プレカット工場	〒876-0822 佐伯市西浜2番34号 TEL 0972-24-2322 FAX 0972-24-1585
宇目工場	〒879-3302 佐伯市宇目大字南田原283番地2 TEL 0972-54-3930 FAX 0972-54-3022



佐伯広域森林組合理念

一 私たちは組合員のために
貢献し組合員から信頼
される森林組合を目指
します。

一 私たちは緑を守る
ことに気概を感じ地域社
会に大きく貢献できる森林
組合を目指します。

一 私たちは丹念さを心がけ
後世に誇れる森づくり
勤しむ努力する森林組合
を目指します。

一 私たちは英知と結集し
果敢に挑戦する情熱を
持ち続ける森林組合を
目指します。

一 私たちは組合を繋がる
すべての仲間とその家族が
幸せでいられるよう森林
組合を目指します。

徳村 白勝



